

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2025年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目4番31号	代表取締役社長 野尻 正輝
	電話番号：06-6271-1510

環境マネジメントシステムの名称	環境目標(独自のシステム)
適用範囲	宇治工場・水戸工場・大阪本社・東京支店
導入年月日	2006年 8月 11日
認証番号	-
基本方針	常に地球環境の保全に貢献するため、組織的かつ継続的に環境負荷の低減に努めます。特に気候変動対策を重要課題の一つとして位置付け、開発、生産、販売などあらゆる段階において、CO2排出量削減に取り組みます。 このため企業活動のあらゆる分野において、積極的に環境管理のレベル向上を目指すとともに、環境に調和した製品・サービスの提供に努めます。 (1) 関係法令、規則等の遵守 自主管理基準の設定と運用 (2) 環境サステナビリティの推進 脱炭素社会そして資源循環型社会の形成を目指して、次の取組みを実施します。 ①カーボンニュートラルロードマップに基づくCO2排出量の削減 ●エネルギーの効率的な利用の推進 ●再生可能エネルギー導入とエネルギー転換の推進 ②資源の有効活用と再資源化の推進 ③環境負荷低減に貢献する技術・製品およびサービスの開発 (3) 地域の環境と共生した事業所の運営および安全・健康の確保 (4) 環境に関する社内体制の充実と教育環境に関する社内体制の充実と教育・啓蒙
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1、CO2排出量の削減 絶対量の削減 ・宇治工場:2013年度比▲16.1%減 (※電力会社排出係数は0.419kgCO2/kwhを適用する) 2、ゼロエミッションの推進、再資源化の向上 宇治工場：ゼロエミッションの維持 再資源化率99%以上 水戸工場：再資源化率1.2%向上 再資源化率97%目標
目標を達成するための取組の内容	1、FD乾燥機の時間短縮 2、ボイラー設備燃料転換 3、冷凍機更新による電力使用量の削減 4、昼休み時事務所内照明の消灯 5、外出時、帰宅時のパソコン電源オフ徹底 6、不使用室内、箇所の照明消灯 7、雑多ゴミ委託処分量の削減 8、事業系一般廃棄物を細分化し減量 9、市政への焼却灰の再資源化率向上要請 10、紙リサイクルボックス利用の徹底 11、缶、ペットボトルの分別容器利用 12、コピー用紙裏紙再利用の徹底 13、ペーパーレス化への取り組み
目標を達成するための取組の進捗状況	1、FD乾燥機の時間短縮の実施(2.8%短縮) 2、水戸工場ボイラー設備燃料転換実施 3、水戸工場冷凍機更新実施 4、昼休み時、事務所内照明の消灯を徹底 5、外出時・帰宅時のパソコン電源オフの徹底、声掛け確認 6、不使用室内、箇所の照明の消灯を徹底 7、荷受け由来の雑多ゴミについて、運送会社に持ち帰りを依頼 8、細分化を推進を推進、再資源化率の低い廃棄物の減量 9、水戸工場での要請依頼 10、紙リサイクルボックス利用の徹底 11、缶・ペットボトル分別容器利用の徹底 12、裏紙使用専用ボックス利用の徹底 13、紙ベース書類から、電子データへ推進
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	ほぼ計画通りに取り組むことが出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については内規にて1年に1回確認（8月度）を行っており、これまで問題も無い。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。この中で2014年度より原単位の指標の分母を乾燥機チャージ数から生産重量へ変更した。これは工場全体の指標として生産重量の方が、より適切であると判断したためである。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。